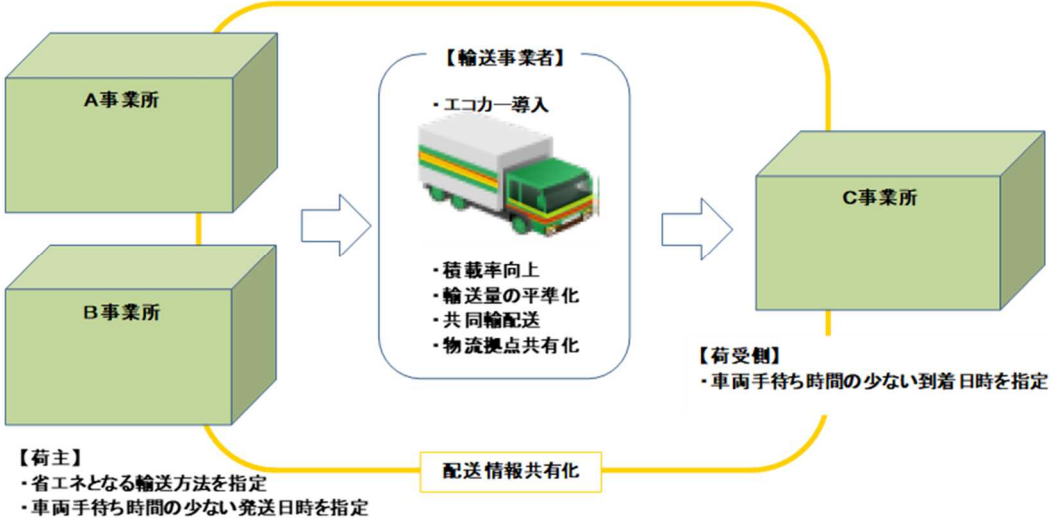


7 車両

番号	対策の名称
③	商品や原料輸送時の省エネ
内容	荷主や受け手側の協力を得ながら、積載率の向上など車両運用の効率化や最適な運行ルートにより走行距離を短くするなど、輸送方法を変更することで、貨物自動車からの温室効果ガス排出量の削減を図ります。 ＜輸送における省エネ取組の例＞ 
効果	車両と荷物の割当や配送ルートの設定を最適化し、総走行距離を削減することで、エネルギー使用量を <u>5～15%</u> 程度の削減ができるとされています。 ＜出典＞ 国土交通省：省エネ法中長期計画書作成のためのヒント集（特定輸送事業者向け） http://www.mlit.go.jp/common/000012401.pdf
ポイント	・商品や原料の搬出入時間を指定する場合、使用される車両の待ち時間がより少なくなるよう、荷主側の配慮を求めることも重要です。